

合格体験記

筑波大学 総合学域群 理 1(第 2 類)合格
兼子 幹介(46 回生)
安城市立安城北中学校出身

僕は受験勉強をする際、常に「1人で戦わない」ということを基本的に心がけていました。そして、特に友人を頼るようになっていました。授業を受けている時、自主学習をしている時、分からないことがあった時はまず友人に聞き、討論をし、それでも分からなかった場合に先生を頼る。このようなスタンスで友人同士共に勉強をしていました。ここで一番大事なのが自分の考えを言語化し相手に伝えることです。分からなかった側もまずは自分の考えを言語化し、どの考え方が誤りだったかを指摘してもらいます。このようにすることでその分からなかった単元に対して理解が深まると考えています。

次に模試の活用について綴ろうと思います。模試での各大学の判定は基本的には指標に過ぎないためあまり気にしないようにしていました。僕が大事にしていたことは前回から偏差値基準で高くなった科目に関して自分を褒めることです。以前の自分では解けなかったこと、理解していなかったことが理解できるようになっている、これは今後へのモチベーションに繋がるからです。また、受験期前半に復習する際には全ての問題の解答解説に目を通しましょう。分からなかった問題はもちろん、答えは合っていたけど解答とやり方が違う問題、加えて別解のあるものは読んでみるのがいいと思います。

受験はメンタルとの戦いです。「うわ、やばいかも」と言っている子よりも、「なんとかする」と多少楽観的に捉えている子の方が最後、いい結果になる気がします(あくまで気がするだけです)。伸び悩むこともあります。そんな時は前述した通り1人で戦わず友人、先生を迷わず活用しましょう。皆さんが良い結果が得られるよう応援しています。